



カキやホタテガイの養殖いかだが美しい「山田湾の景観」

# 「三陸ジオパーク」が 日本ジオパークに認定されました

今年9月、山田町を含む「三陸ジオパーク」が、日本ジオパークの一つとして正式に認定されました。

## ◎ジオパークって何？

「ジオパーク」とは、地球や大地を意味する「ジオ」と公園の「パーク」を組み合わせた造語で、地球やその地域の成り立ちなどを観察するのに適した自然公園のことです。現在、日本中にジオパークは32カ所。そのうち6カ所がユネスコの「世界ジオパーク」にも認定されています。



2億年前の地層が見られる「豊間根川上流の地層」

## ◎見どころは？

私たちの「三陸ジオパーク」は、北は青森県八戸市から南は宮城県気仙沼市まで、海岸延長が300kmを超える日本最大のジオパークです。

三陸地域には、田野畑の「北山崎」、岩泉の「龍泉洞」、大船渡の「碁石海岸」など、地球のできた過程が分かる見どころ「ジオサイト」が48カ所もあり、それぞれの成り立ち、ストーリーがあります。また震災遺構が29カ所選ばれているのも特徴です。

## ◎山田町のジオサイトは？

山田町から選ばれたジオサイトは、「山田湾の景観」と「豊間根川上流の地層」。山田湾に浮かぶオランダ島と養殖いかだが織りなす景観は、リアスの地勢が人々の暮らしと密接に関わった好例です。また豊間根川上流の崖では、2億年前にハワイ辺りの海底に堆積した地層が、プレート運動によって山田に運ばれた例を見ることができます。

見慣れた風景や地形も、その地史や来歴を知ること、もつと知りたい、詳しく見たい、という気持ちが高まることでしょう。その興味を「ジオパーク」「ジオツーリズム」として持続・発展させ、たくさんの方に見て感動を体感しましょう。



パンフや小冊子は役場でも配布しています

## あなたもジオを学びませんか？ 「山田町ジオパーク学習会」開催

郷土のことをもっと知りたい、訪れる人々に山田の魅力をもっと深く語りたい…そんなあなたにぴったりの「山田町ジオパーク学習会」を開催します。講師は、地形学や景観論が専門の岩手県立大名誉教授・米地文夫さん。山田湾や船越半島の景観はどのように生まれたか、山田の風土と人々の暮らしとの関わりなどを、豊富な知識とエピソードをちりばめて分かりやすく語っていただきます。参加無料、予約不要。

▷日時 1月23日(木) 午後6時～8時

▷場所 町中央公民館小ホール

◆問い合わせ 町水産商工課観光振興係 (内線224) へどうぞ。

## 「三陸キッズ・ジオマスター」

### 山田南小のペアが3位入賞!

「三陸ジオパーク」の見どころや魅力を学ぼうと、小学生たちによるクイズ大会「三陸キッズ・ジオマスター」が11月10日行われ、その様子が11月20日にIBCテレビで放映されました。大会には、ジオパークを構成する青森県八戸市から岩手県沿岸市町村、宮城県気仙沼市までに住む小学生ペア13組が参加。山田町からは、山田南小6年の阿部里帆さん・鈴木遥香さんが挑みました。

午前10時過ぎ、三陸鉄道久慈駅を出発。列車で沿岸を下りながらジオパークの見どころや魅力をクイズを通して学びました。決勝戦は宮古市の浄土ヶ浜で行われ、山田南小ペアは見事3位に入賞。日頃きたえた知識と観察力で、大会を大いに盛り上げました。



健闘した鈴木さん(左)と阿部さん